

○ Z Venture Capital

会社名	登壇者		事業内容	会社 HP
Z Venture Capital(株) 	Partner 湯田 将紀 ゆだ まさき		<登壇者紹介> 早稲田大学社会科学部卒業後、ヤフー株式会社に入社。検索連動型広告やディスプレイ広告の企画開発を経験後、全社のマーケティングを推進するラボ的組織にてマーケティングの最適化支援やアドテクを活用した先進事例の創出を行う。その後、メディアカンパニーの財務企画として財務分析や事業計画策定、財務オペレーションの構築などに従事し、2018年10月よりZ Venture Capitalに参画。	
Z Venture Capital(株) 	Associate 内田 康介 うちだ こうすけ		<登壇者紹介> 京都大学経済学部卒業後、東海旅客鉄道株式会社（JR東海）を経て、アクセンチュアに参画。JR東海では新幹線（東海道新幹線、リニア中央新幹線）の事業部門において、広報・人事・リスクマネジメント業務に従事。アクセンチュアでは製造業、特に消費財業界の企業に対して経営管理高度化、収益改善、SCM改革、および買収先企業のバリューアップに従事。AI・データ駆動型の分析に基づく戦略立案から現場実装まで、一気通貫での事業成長を支援。2026年5月よりZ Venture Capitalに参画。	
Z Venture Capital(株) 	Managing Partner James Lim		<登壇者紹介> Jamesは2022年にZ Venture Capital（以下、ZVC）に入社。グローバル投資を中心に担当。ZVC入社以前は、8年にわたりLINEで、事業開発、戦略、成長、コーポレート開発など様々な職務を経験した。また、LINE Venturesの創業メンバーを務めたほか、アジアや米国で消費者向けやB2B向けのスタートアップ企業で管理職を務めた経験もある。Jamesは、サンフランシスコのBlackrockでキャリアをスタートし、機関投資家向けに株式や債券のポートフォリオを運用。カリフォルニア大学バークレー校で理学士号、シカゴ大学ブース・ビジネス・スクールでMBAを取得。	
Z Venture Capital(株) 	Principal Janice Sa		<登壇者紹介> Janiceは、NaverおよびLINEにて、グローバルIT業界の進化を牽引する。2013年以降、LINEのグローバル展開とユーザー獲得を主導し、その後、同社の重要な成長期およびIPOにおいて、戦略投資やM&Aを推進。現在はZ Venture Capitalにて、オペレーション領域での専門性とLINEヤフーグループのエコシステムを活かし、韓国、日本、東南アジア、米国にわたるスタートアップのスケールアップを支援。	
Z Venture Capital(株) 	Partner Hyung Kim		<登壇者紹介> 2013年にBain & Company、IMMを経てLINE入社。LINE米国オフィスで戦略・事業開発チームを率いて、米国市場でのLINEメッセージングプラットフォームの拡大を担当。2017年にLINE Venturesに参画、米国投資をリード。LINE入社前は、韓国ベースのプライベートエクイティおよびベンチャーキャピタルであるIMM Investmentのシニアマネージャーとして従事し、IT・ヘルスケア・クリーンエネルギー分野へ投資を実行。Bain & Companyではソウルおよびアトランタオフィスに3年間勤務、グローバルクライアントの成長戦略、M&A、新規事業開発に従事。ペンシルバニア大学ウォートンスクールMBA、ノースウェスタン大学MS。	

Z Venture Capital(株)  Z venture capital	Associate きたはた きぬこ 北畑 絹子		<登壇者紹介> 慶應義塾大学総合政策学部卒業後、グリー株式会社に入社。採用や広報を担当した後、グリーベンチャーズへ出向。2022 年からは米国サンフランシスコに拠点を置く GFR Fund に出向。投資先支援、LP リレーション、ゲームおよびクリエイターエコノミー分野でのディールソーシングを担当。2025 年に Z Venture Capital に参画し、米国におけるインタラクティブメディアおよび AI 分野の投資を担当。	
カプセルジャパン(株) CAPSULE	COO Japan Region みかし まかずき 三ヶ島一樹		<会社紹介> カプセルジャパンは、日本の IP・コンテンツ・観光資源・商品を、台湾・韓国をはじめとする海外市場へ展開するクロスボーダー企業。現地ネットワークとマーケティング力を活かし、KOL・SNS プロモーション、クリエイティブ制作、イベント、グッズ、越境 EC、インバウンド集客まで幅広く展開。市場調査から戦略立案、企画、実行、運用まで一気通貫で支援し、日本と海外をつなぐ新たなビジネスを創出する。 <登壇者紹介> 福岡県出身。営業・海外事業を経験後、台湾法人を設立し、現地での事業立ち上げを経験。現在は、日本企業の海外進出やインバウンド事業を中心に、台湾・韓国をはじめとする海外市場で、KOL・SNS・IP・観光を掛け合わせた事業開発とプロモーションを手掛けている。	
グローバルコネクト福岡 	マネージャー いとう ゆうき 伊藤 雄気		<登壇者紹介> 農林中央金庫にて 10 年超、法人融資からスタートアップ投資まで幅広くコーポレートファイナンス業務に従事し、2025 年に独立。現在は福岡を拠点に、主に大学発研究シーズの事業化を手掛けている。2026 年 4 月より専門職としてグローバルコネクト福岡に加入し、事業計画やファイナンス関連の相談対応に加え、海外機関との連携強化にも注力。北九州市出身、九州大学経済学部卒。NEDO SSA アソシエイト。	

会社名	登壇者		事業内容
Chairman of AAN Award	Chairman Ching Yao, Huang Ph.D.		<登壇者紹介> 2002 年～: 国立陽明交通大学 電子工学系 教授 2013 年～: 産業加速・特許戦略センター (IAPS) センター長 2016 年～: ベンチャー・ラボ・プログラム (Venture Lab Program) ディレクター 2016 年～: 科技管理研究所 客員教授 2018 年 - 2019 年: アジアインキュベーション協会 (AABI) 会長 2016 年 - 2019 年: 中華創業育成協会 (CBIA) 理事長 2019 年～: アジア太平洋アクセラレーターネットワーク協会 (AAN) 会長 スタートアップ創業・事業化 (Deep-Tech Ventures) 2020 年～: FiduciaEdge Technologies Inc. 創業者 兼 チーフアドバイザー 2023 年～: LocusConnect Technologies Inc. 創業者 兼 チーフアドバイザー 政府・公的機関委嘱 (Policy & Government Advisory) 2016 年～: 行政院 (台湾内閣) 科技会報 (BOST) 客員研究員 2016 年～: 国家情報通信イニシアチブ (NICI) 委員 学術的栄誉 World's Top 2% Scientists 2024: スタンフォード大学発表の「世界の上位 2%の科学者」リストに選出。
SCITECH Park  SCITECH PARK	Director General and CEO Dr.Rajendra Jagdale		<会社紹介> 1986 年にインド科学技術省 (DST) によって設立されたプネー科学技術パーク (SCITECH Park) は、1,000 社以上のテクノロジースタートアップを育成してきた実績を持つインドトップクラスの国立サイエンスパークおよびインキュベーターです。 ディープテック (高度先端技術)、先進素材、メディカルテック (医療技術) の領域を専門としており、SCITECH Park はエコシステムビルダーとして政策形成の主導や、「NIDHI PRAYAS (プロトタイプ試作支援およびシード資金提供プログラム)」をはじめとする重要な国家イニシアチブの運営・管理を担っています。 <登壇者紹介> 理学修士 (M.Sc.)、博士 (Ph.D.) 40 年以上にわたり学術・科学技術研究の第一線で活躍し、産学連携や技術移転を強力に推進。 自らの知見を活かし、事業・プロジェクトの立ち上げを多数主導。 25 年以上にわたり SCITECH Park のトップを務め、1,000 社以上のスタートアップ育成を牽引。 シード・アーリーステージ企業への出資およびインキュベーションプログラムの運営に従事。 アジア・欧州・北米等の国際的イノベーションハブやエコシステムと深く連携。

Startup GoGo 	Managing Partner Toshihiro Kishihara		<会社紹介> Startup GoGo は、福岡を拠点に活気ある相互接続されたグローバル・スタートアップ・エコシステムの育成に注力する、日本を代表するアクセラレーター兼イノベーションハブです。 傘下のベンチャーキャピタルである「GxPartners」を原動力として、Startup GoGo はフラッグシップ・プログラム「UPDRAFT」や毎年開催される著名なピッチコンテスト「The PITCH」などの取り組みを通じて、不可欠なシード資金の提供やハンズオンでの成長支援を行っています。 <登壇者紹介> 下関市立大学（Shimonoseki City University）証券会社の引受（アンダーライティング）部門に従事。独立後、コンサルティング会社を設立・経営。 2014 年にアクセラレーター「Startup GoGo」を創設。2019 年にシード投資特化型 VC「GxPartners」を設立。 ・一般社団法人 Startup GoGo 代表理事 ・GxPartners LLP 代表パートナー
E3 Global 	Founder, Chairman and Group CEO Professor Andrew Wong		<会社紹介> 理論上の概念よりも現実の事業トラクション（実戦的成果・実績）を重視する理念のもと設立された E3 Global は、アジア太平洋地域における成長企業の拡大アプローチを再定義しています。マレーシアを拠点とするこのエンタープライズ成長プラットフォーム兼アクセラレーターは、実践的なビジネス能力の開発、起業家同士（ピア・ツー・ピア）のメンターシップ、そして拡大への野望を測定可能な市場成果へと導く「創業者主導のネットワーク」の構築に注力しています。 <登壇者紹介> 「起業家アーキテクト（Entrepreneur Architect）」 / アントレプレナーシップ領域における大学教授 アントレプレナーとして 30 年以上の実績を持ち、事業構築・スケールアップ戦略の専門家として活動。 21 年以上にわたりベンチャー企業のインキュベーション・アクセラレーションに従事。世界銀行（World Bank）infoDev 認定インキュベーション・トレーナーの資格を保持。 これまでに 10,000 人・社を超える起業家をインキュベート・育成し、広範な起業家ネットワークを構築。 「起業家が起業家を支援する（Entrepreneurs Empowering Entrepreneurs）」という理念のもと、世界最大級の民間のグローバル起業家プラットフォームおよびコミュニティ「E3Hubs」の立ち上げ・拡大を牽引しています。

Blackstorm Group BLACKSTORM GROUP	Group CEO Jeslin Bay		<会社紹介> 東南アジアのスタートアップ情勢の中心に位置する BlackStorm Consulting は、「人 (People)」「製品 (Product)」「プロセス (Process)」における重要な成長ギャップを埋め、急速な地域スケールアップ (事業拡大) を推進しています。 シンガポールを拠点とする同社は、シンガポール、タイ、インドネシア、マレーシア、ブルネイにまたがる高成長市場へ進出する企業にとって不可欠なローンチパッド (事業発射台) として機能し、スタートアップが長期的な拡大に向けた強靱な基盤を構築できるよう支援しています。 <登壇者紹介> BlackStorm Consulting グループ CEO (CEO / Managing Partner) SHINE APART 共同創業者 (Co-Founder) 企業戦略の構築およびシンガポール、タイ、インドネシア、マレーシアなどの東南アジア地域への市場進出 (Market Entry) 支援に精通した専門家。 数多くのスタートアップやアクセラレータープログラムでメンターを務め、創業者の能力開発や成長段階での組織・事業基盤の補強を牽引。 大切な自己表現 (bold self-expression) やパーソナルブランディングの推進をテーマとするファッションブランド「SHINE APART」を共同立ち上げ・運営。
IAPS IAPS Innovation Acceleration Platform for Startups	CEO Michael Lin		<会社紹介> ディープテック (高度先端技術) の成長促進における世界的リーダーとして評価される国立陽明交通大学の IAPS は、台湾における大学発スタートアップ・アクセラレーターのパイオニアです。UBI Global によりアジア太平洋地域 (APAC) 第 1 位、グローバル第 7 位にランク付けされた IAPS は、これまでに 950 社以上のテクノロジースタートアップや大学研究室発のスピンオフ企業を支援し、採択企業は毎年 1,000 万米ドル (約 15 億円) 以上の資金調達を成功させています。 当センターは、学術研究、企業のオープンイノベーション、そしてベンチャーキャピタルを橋渡しすることで、持続可能な市場成長を推進しています。 <登壇者紹介> アジア太平洋アクセラレーターネットワーク協会 (AAN: Asia Pacific Accelerator Network Association) 事務局長 (Secretary General) 国立陽明交通大学 IAPS (産業加速・特許戦略センター) CEO 兼 副所長 中華創業育成協会 (CBIA: Chinese Business Incubation Association) の元事務局長 (Secretary General) を務めるなど、台湾およびアジア地域のインキュベーション業界団体を主導。 旧・国立交通大学 (現・国立陽明交通大学) のイノベーション・インキュベーションセンターにてシニアマネージャーを務め、スタートアップのインキュベーションおよびインキュベーションセンターの管理運営全般に特化した実績を持つ。 現在は AAN 事務局長としてアジア太平洋地域のアクセラレーター事業の運営統括を行うとともに、IAPS のトップとして深層技術 (ディープテック) 領域の創業支援やクロスボーダーでのスタートアップ成長を主導。

MeCode 	Co-Founder & CEO, MeCode Founder & CEO, MeCode Research Pongpat Weesommai (Em)		<会社紹介> 人工知能（AI）とエンタープライズ・アーキテクチャ（企業 IT 基盤）の領域で次世代デジタルソリューションを構築する MeCode は、タイを拠点とするディープテック製品開発ラボです。同社は、高成長中のベンチャー企業や大企業がレガシーシステム（旧来型システム）の刷新、拡張性の高いテクノロジー構造の設計、さらには複雑なアルゴリズムの商用グレードソフトウェア製品への変換を支援することで、デジタルトランスフォーメーション（DX）を加速させています。 <登壇者紹介> MeCode 共同創業者 兼 CEO MeCode Research 創業者 兼 CEO チュラロンコン大学（タイ）：情報通信工学士号（BEng）取得 国立陽明交通大学（NYCU / 台湾）：コンピュータサイエンス & AI 修士号（MSc）在籍（在学中に台湾にて MeCode Research を設立） 2018 年の MeCode 創業以来、タイ、台湾、アジア太平洋地域（APAC）において 100 以上のデジタルプロダクト開発プロジェクトを牽引。 エンタープライズソフトウェア、AI（人工知能）、フィンテック（FinTech）、スマートヘルスケア、IoT、e コマース、電気自動車（EV）インフラなど多岐にわたる領域でシステム開発・DX 支援を指揮。 フルスタックエンジニアリング、CTO 最高技術責任者としてのリーダーシップ、プロダクト戦略立案、および国境を越えた商業化（クロスボーダー商業展開）まで包括的に網羅。
InnoLab Asia 	Chairman & CEO Cong Thang Huynh		<会社紹介> ベトナムにおけるオープンイノベーションとコーポレート・ベンチャー・ビルディングを牽引する InnoLab Asia は、グローバルなテクノロジーリーダー、大企業、およびスタートアップを結びつけ、東南アジア全域でインパクトの高いベンチャー創出を推進しています。 当プラットフォームは、新興市場（エマージングマーケット）のニーズと最先端ソリューションとの間のギャップを埋めることを専門としており、持続可能な事業成長と国境を越えたイノベーションのための包括的な（エンド・ツー・エンドの）支援を提供しています。 <登壇者紹介> InnoLab Asia 共同創業者 兼 会長 兼 CEO オーストラリア・ベトナム政策研究所（AVPI）フェロー スタートアップ、大企業、投資家、公的機関を結びつけ、東南アジア全域におけるイノベーションや新規事業創出（ベンチャービルディング）を推進。 スタートアップへのメンタリング、国際的な市場拡大（グローバル展開支援）、オープンイノベーション推進、およびベンチャー投資領域を専門とする。 シンガポール国立大学（NUS）や、ドイツ連邦経済・気候保護省（BMWK）が支援する「German Accelerator Southeast Asia」など、世界的なアクセラレータープログラムでメンターを務める。

○ AAN Meet the Startups

会社名	登壇者	事業内容
Medvolt Tech 	Co-founder & CEO Dr. Madhura Vipra	<会社紹介> Medvolt（メドボルト）は、クローズドループ型の AI ネイティブ創薬プラットフォーム「MedGraph」を構築しています。本プラットフォームは、生成 AI、生体医学ナレッジグラフ、物理ベースのシミュレーションを統合することで、小分子、大分子（中分子・バイオ医薬品）、および酵素の探索・開発を加速させます。これにより、臨床前試験の期間を 3 分の 1 に短縮、コストを最大 10 分の 1 に削減し、初期段階での失敗リスクを 25%低減します。
Planterra Banana Fiber 	Founder & CEO Shshank Shrivastava	<会社紹介> BANHIDE（バンハイド）は、バナナの農業廃棄物を環境に優しく、耐久性があり、量産可能なサステナブル素材（レザー代替品）へと変革しています。当社のバイオベース素材は環境負荷を低減しながら、伝統的な本革や合成皮革に代わるサステナブルな素材を求めるファッション、アクセサリ、ライフスタイル業界へプレミアムなソリューションを提供します。
EF Polymer K.K. 	CEO Office Manager Norihiko Kudeken	<会社紹介> EF Polymer（EF ポリマー）は、農業廃棄物を高性能で生分解性のある素材へと変換し、作物の生産性を維持しながら農家が使用水量を最大 40%、肥料使用量を最大 20%削減できるよう支援しています。未利用資源から価値を創造することで、今日の持続可能な農業を実現し、将来的な各種産業における循環型（サーキュラー）素材ソリューションを支えています。
eMotion Fleet Inc. 	Founder & CEO Shuji Shiraki	<会社紹介> eMotion Fleet（エモーション・フリート）は、「収益性と環境性を両立したモビリティのゼロからの構築（Profitable Green Mobility - built from the ground up）」をミッションに掲げ、商用フリート（企業が保有する車両群）のデジタル化および電動化（EV 化）に向けたワンストップ・ソリューションを提供するスタートアップです。 既存の車両および運行オペレーションをデジタル化するとともに、EV フリートの導入計画から運用までをトータルでサポートし、カーボンニュートラルの達成と企業フリートの収益性改善を両立させます。日本およびドイツの大手物流フリートにおいて 23,000 台以上の電動化を達成した創業メンバーの豊富な知見を強みに、日本およびアジア全域におけるモビリティのデジタル・グリーン変革（DX/GX）を牽引しています。
Farmio 	Co-Founder Chan Pak Hong	<会社紹介> Farmio（ファームイオ）のオペレーティングシステムは、参入障壁のない AI 駆動のプロセス自動化を実現します。Farmio のソリューションは、食品卸売業者や顧客が日常的に利用しているメッセージングアプリ（WhatsApp、WeChat、LINE など）上で直接機能します。人々の従来の操作体験を変えることなく、業務効率の飛躍的な向上をもたらします。

ecotera asia 	CEO & Founder Melinda Bernabe Chu	<会社紹介> ecotera asia は、水環境および人体への曝露（影響）におけるマイクロプラスチックおよびナノプラスチックを迅速にモニタリングする、スケーラブルなプラットフォームを展開しています。独自の化学技術（試薬）と AI を活用したスマートフォン解析により、専門的な設備やトレーニングを必要としない分散型の検査を可能にし、政府機関、水道事業者、研究機関、地域社会における環境モニタリングおよび公衆衛生プログラムの強化を支援しています。
Huijia Health 	President & Founder Shu-chen Yang	<会社紹介> Huijia Health（フイジア・ヘルス）は、病院や介護施設向けに光ファイバー技術を活用した AI スマートケアソリューションを提供しています。非装着型（ウェアラブル不要）のセンシング技術、リアルタイムモニタリング、そしてデータ分析を統合することで、患者の安全性を向上させ、介護者・看護師の負担を軽減します。
Ennowell 	President LIN, JIAN-CHIUAN	<会社紹介> Ennowell（エノウェル）は、建物のライフサイクル全体にわたって、AI 駆動のデジタルツイン技術、インテリジェントなエネルギー管理、およびカーボン（CO2）管理ソリューションを組み合わせた統合型スマートビルディング・プラットフォームを提供しています。 大規模言語モデル（LLM）や視覚言語モデル（VLM）などの先進的な AI 技術を活用することで、高度なデータ解析、自然言語による対話・操作、画像ベースの設備点検、異常検知、AI による運用インサイトの提示を可能にします。リアルタイムの IoT データ、BIM/デジタルツインモデル、AI 分析を統合することで、本プラットフォームはリアルタイムモニタリング、エネルギー最適化、CO2 排出量追跡、予知保全、および自動制御戦略を提供します。これにより、企業が運用効率の向上、エネルギー消費と運用コストの削減、ファシリティマネジメント能力の強化、そしてネットゼロ（温室効果ガス排出実質ゼロ）と持続可能なビル管理に向けた取り組みを加速できるよう支援します。
Smart City Solutions and Consulting 	CEO Tarawut Boonlua	<会社紹介> SCSC（スマート・シティ・ソリューションズ・アンド・コンサルティング）は、自社開発の「シティ・データ・プラットフォーム（都市データ基盤）」、「インテリジェント・オペレーション・センター（統合運用センター）」、およびタイ政府向けのデータモデルを保有しており、その下層には GIS（地理情報システム）と IoT エンジンが統合されています。 4 年間にわたりタイの県政府（地方自治体）に深く組み込まれて収益を上げており、競合他社が模倣できない独自のデータと強固な関係性を確立しています。現在は、ワイヤレス・ロジック（Wireless Logic）社とのパートナーシップを通じて、グローバル展開を進めています。

MAEC 	President Veravich Wongsanganan	<会社紹介> MAEC は、充電器の統合管理、決済、運用、およびエネルギーデータを一元化するハードウェア非依存（マルチメーカー対応）のプラットフォーム「MeCharge EV」を通じて、次世代の EV（電気自動車）充電を強力に推進しています。当社の GP（グロースパートナー／ゼネラルパートナー）ベースのモデルは、導入のハードルを下げつつ、事業者が効率的にスケールアップできるようにし、スマートエネルギーおよびカーボンインテリジェンス（炭素データの可視化・最適化）に向けた長期的な道筋を提供します。
Nardell Resources 	CEO Tian Woon Soo Bernard	<会社紹介> Nardell Resources（ナーデル・リソースズ）は、マレーシアおよび ASEAN 地域全域において、ロイヤルティ・報酬・顧客維持（リテンション）プログラムを支援してきた約 20 年の実績を持つ、加盟店調達（マーチャント・ソーシング）および特典キュレーションのパイオニアです。 5,000 社以上の加盟店パートナーとの強固で信頼できる関係と、戦略的なエンタープライズ・金融パートナーネットワークを通じてプロファイリングされた 9,000 万人以上のユーザーへの「費用ゼロ」でのアクセスを活用し、ブランドと購入意欲の高い消費者を結びつけ、シームレスなデジタルエンゲージメントを推進しています。
Ted Optimus 	CEO Warren Mak Chin Kow	<会社紹介> TED Optimus（テッド・オプティマス）は、AI 株式アナリティクスを活用した、マレーシア証券取引所（Bursa Malaysia）公認としてマレーシア初の情報ベンダー（Information Vendor）です。 独自に取得した Bursa のリアルタイムデータ、機械学習技術、および体系的な投資家教育を組み合わせることで、個人投資家がよりスマートな意思決定を行い、持続可能な資産を構築できるよう支援しています。同社は「2035 年までに 5,000 世帯が 100 万リンギット（RM）の株式資産を達成できるよう支援する」というミッションを掲げています。
Veep 	CEO Nguyễn Bách Việt	<会社紹介> Veep（ヴィープ）は、AI を活用した「EEaaS（Energy Efficiency as a Service：サービスとしてのエネルギー効率）」を提供しており、インテリジェントな最適化、IoT オートメーション、およびパフォーマンス成果連動型のファイナンス構造を通じ、商業ビルや産業施設が初期投資なしでエネルギーコストと CO2 排出量を最大 30%削減できるよう支援しています。
TOPSKILLS 	CEO / Co-Founder LÊ THANH LÂM	<会社紹介> ベトナムに本社を置く TOPSKILLS は、2021 年に設立された企業向け人材育成・コンサルティングおよび EdTech 企業です。国際的な人材育成の原則と現地企業のニーズを融合させ、企業組織の能力開発（Competence Development）に特化したソリューションを提供しています。 専門家による高度なノウハウと AI を活用した EdTech ソリューションを組み合わせることで、オーダーメイドの企業コンサルティング、リーダーシップ育成、スケーラブルな人材開発フレームワークを展開。Extended DISC、Simitri（香港）、MTI（ドイツ）などのグローバルパートナーとの戦略的提携を通じ、東南アジア全域の企業における人材能力向上と持続的なビジネス変革を支援しています。

○ Korea (dcamp) トークセッション

会社名	登壇者	事業内容	会社 HP
東日本旅客 鉄道(株) 	主任 みやじま こうへい 宮嶋 耕平	 <会社紹介> LiSH (TAKANAWA GATEWAY Link Scholars' Hub) は、JR 東日本が開発する TAKANAWA GATEWAY CITY 内のビジネス創造施設です。国内外のスタートアップや企業、アカデミア、自治体等が集い、街全体を活用した実証実験や事業共創を支援しています。ディープテックスタートアップが活用できるウェットラボや JR 東日本グループ社員の伴走支援、グローバル・ブレインと共同で設立した高輪地球益ファンドの連携を通じて、イノベーションの創出から資金支援、社会実装までを一体的に推進します。 <登壇者紹介> JR 東日本入社後、2023 年より TAKANAWA GATEWAY CITY プロジェクトに従事。広域スタートアップエコシステム構築に向けて、街のビジネス創造施設「LiSH」およびファンド機能である「高輪地球益ファンド」を担当。	
グローバル・ブレイン(株) 	Director しまだ としひろ 島田 敏宏	 <会社紹介> グローバル・ブレインは運用総額 4,000 億円を超え、世界に 10 拠点を展開する国内最大級の独立系 VC です。200 社超の大企業ネットワークを持ち、20 社以上の CVC ファンドを運営。アーリーステージを中心にシードからレイターまで幅広く投資しています。JR 東日本とは高輪地球益ファンドを共同で設立。有望企業の発掘や投資判断、多面的な経営・実証・協業の支援を通じて、投資先企業の飛躍的な成長をサポートしています。 <登壇者紹介> 大学在学中にグリーン創業初期メンバーとして参画し、新規事業開発・上場準備・グループ会社 CEO 等を経て CVC 設立に携わる。グローバル・ブレインでは「高輪地球益ファンド」のオープンイノベーション支援に従事。	
dcamp (ディーキャンプ) 	マネージャー ちよん みんよん 全 敏暎	 <会社紹介> dcamp (ディーキャンプ／韓国銀行圏青年創業財団) は、2012 年に韓国の大手銀行を含む 19 の金融機関の出捐により設立された、韓国最大級のスタートアップ支援機関です。 ソウルを拠点に、スタートアップへの投資、オフィススペースの提供、成長支援プログラムなどを通じて、数多くのスタートアップの成長を支援してきました。 近年は、韓国スタートアップの日本市場への進出を支援するため、日本企業とのオープンイノベーションや事業提携の機会創出にも積極的に取り組んでいます。 <登壇者紹介> アクセラレーターとして複数のファンド運用や多数のスタートアップ投資・育成を経験。日本企業のマーケティング部門等で約 8 年間日本駐在経験保有。現在 dcamp グローバル事業室で日本進出支援を担当。	

○ Korea (dcamp) ピッチセッション

会社名	登壇者		事業内容	会社 HP
(株)ファーストラボ  FUST Lab. Focused Ultra-Sonic Tech. Lab.	代表取締役 皇甫 旻聖 (Hwangbo Minsung)		<会社紹介> 株式会社ファーストラボは、韓国の国立研究機関である韓国標準科学研究院で 2008 年から開発された超音波技術をもとに設立されたディープテック企業です（韓国 2022 年、日本 2025 年設立）。独自の超音波装置「Cavitox」を通じ、PFAS 等の難分解性有害物質を効率的に分解・処理し、排水分野において革新的な環境ソリューションを提供しております。 <登壇者紹介> 現) 株式会社ファースト・ラボ 代表取締役 元) フィンテック企業 日本/韓国法人 事業企画次長 元) 韓国標準科学研究院 (KRISS) 研究所企業 設立メンバー 西江大学校 技術経営専門大学院 技術経営専攻 工学修士	
(株)ナインワット  ninewatt	チームリーダー 金 多恵 (Kim Dahye)		<会社紹介> ナインワットは、都市と建物のエネルギーデータを分析し、省エネルギー、建物運営改善、グリーンリモデリング、分散型エネルギー活用を支援する AI エネルギーテック企業です。韓国国内での豊富なプロジェクト経験をもとに、日本での実証(PoC)や現地法人設立、米国企業との協業を通じてグローバル事業を拡大しています。 <登壇者紹介> ナインワットの Global Business Lead として、日本市場進出、現地パートナーシップ構築、PoC および事業開発を担当。	
レディロバ ストマシン (株)  READi	日本支社長 朴 成株 (Park Seongju)		<会社紹介> レディロバストマシンは、油圧建設機械のエネルギー効率向上と電動化のための技術を開発する企業です。油圧エネルギー回収システム「READi X」や有線式電動ショベルソリューション「READi EX」などを開発・供給しており、現在名古屋に日本法人を設立し、現地実証、PoC および事業パートナーシップを拡大しています。 <登壇者紹介> レディロバストマシンの日本事業責任者として、日本法人の設立・運営、顧客開拓、PoC および現地パートナーシップ構築を担当し、日本市場での事業拡大を推進。	
(株)セカ (SECA Labs)  SECA	共同創業者 兼 CTO 鄭 鈺澈 (Jung Okchul)		<会社紹介> SECA は、要求仕様、回路図、RTL、BOM、データシートなど分散した電子・ハードウェア設計情報を一つの設計グラフに統合し、AI エージェントによる設計ドラフト生成、検証、変更影響分析を行う企業です。顧客インフラ上にオンプレミスで構築することで、セキュリティとデータ主権を確保します。 <登壇者紹介> ソウル大学校で AI を研究し、LG 電子で Vision AI を開発。現在は SECA 共同創業者 兼 CTO として、ハードウェア設計 AI 製品の開発と顧客導入をリード。	

(株)ユニユニ



代表取締役
韓 受沆
(Han Sooyeon)



<会社紹介>
ユニユニは、Non-Vision AI「Savvy」を通じてプライバシーと安全を同時に実現する企業です。CCTV 設置が困難な公共施設や機微な空間(トイレ、療養病院、公共施設等)において、赤外線距離データなど非識別データのみを活用し、プライバシーを侵害することなく転倒、失神、暴行、盗撮などの異常行動や緊急事態を 24 時間リアルタイムで検知・対応します。

<登壇者紹介>
韓受沆代表はコンピュータ工学を専攻し、人命を救う AI 技術を開発。ユニユニを創業し、これまでに 147 件の実際の緊急事態で人々の命を救っている。

